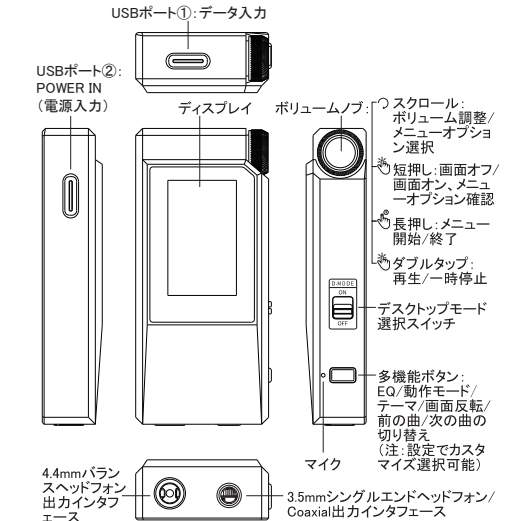


各部の機能と外観



メイン画面表示説明

- ①ボリュームステータス: 現在のボリューム値を表示します
②デスクトップモードマーク: デスクトップモードが有効な場合ステータスマークが表示されます
③S/PDIF出力マーク: 設定でS/PDIFをONに設定しCoaxial出力を有効にしているとステータスマークが表示されます
④トラックフォーマット表示: 現在再生中のトラックフォーマットを表示します
⑤トラックサンプリングレート表示: 現在再生中のトラックサンプリングレートを表示します
⑥EQモード: EQ選択状態を表示します
⑦動作モード: HiFi Modeを選択していることを表すステータスマークです。Game Modeの際は専用の画面に移行します。
⑧ゲインステータス表示: HIGHまたはLOWのゲイン設定をステータスマークで表示します (図のマークはLOWの状態です)

メニュー設定説明

Workmode: HiFi ModeまたはGame Modeの切り替えができます
Theme: 本体インターフェイスにおける表示テーマを切り替えることができます。
EQ: イコライザーの設定ができます。
LCD rotation: 画面の反転ができます。ONに設定することで画面を180度回転した状態で表示できます。(ノブの動作は画面の向きに合わせて変化します)
User Keys: 多機能ボタンのシングルクリック、ダブルクリック、長押しに対して機能を割り当てることができます。
Charge: 充電の設定をFor Phone、For Estick、OFFに変更ができます。(それぞれの機能については充電機能の説明をご参照ください。)
Gain: ゲイン設定をHIGH、LOWから選択して設定ができます。
Volume level: ポリウム調整の段階を最大60レベル、最大120レベルから選択して設定ができます。

Filters: デジタルフィルターを8種類の中から選択し設定ができます。
S/PDIF: ONにすることで3.5mm出力インターフェイスからCoaxial(同軸デジタル)信号を出力できます。対応したヘッドホンプラグを別途購入してご利用ください。アナログ出力ヘッドホンで音楽を聴く際に、この出力をオフにしてください。
L/R Balance: 左チャンネルと右チャンネルの出力音量のバランス設定ができます。
Brightness: 画面の明るさを設定できます。
Max Volume: 音量の最大レベルの制限を設定することができます。
LCD timeout: 画面の表示がオフになるまでの時間を設定できます。
English/中文: 本体の言語設定をEnglishまたは中文から選択し設定ができます。
Reset: 本体の設定を工場出荷時の状態にリセットすることができます。
Version: 本体における現在のデバイスのファームウェアバージョンを表示します。

ポップアップ説明

- インターフェイスに「Output Error」と表示された場合、本体は出力を停止します。USB電源を切断し、ヘッドフォンを抜いてから、再度USBに電源を接続し、ヘッドフォンを挿入して使用してください。
- インターフェイスに「Overheating」と表示された場合、本体の異常な加熱を示しています。本体に接続されている機器を全て取り外し、本体温度が常温になったことを確認してから再度ご使用ください。
- インターフェイスに「Insufficient Power」と表示された場合、接続したUSB機器からの電力供給が不足していることを示し、出力電力が制限され、充電機能が停止します。

デコード使用説明

- USB Type-C 接続により、スマートフォンやタブレット、PCなどのデバイスに接続して使用できます。

注: スマートフォン又はプレーヤーシステムやハードウェアの違いにより、一部のデバイスで互換性の問題が発生する可能性があります。一部のスマートフォンでは、正常に動作させるためにOTG機能を手動で有効化する必要があります。

- Windows10以降のバージョン及びMac OSシステムパソコンにドライバーなしで接続して使用することをサポートします。PC側でもUSBドライバーをインストールすることができ、ドライバーをインストールした後にASIOモードによる動作をサポートし、より良い体験が得られます。公式ウェブサイトのドライバーダウンロードリンク: https://www.fiio.com/Driver_Download
注: パソコンで再生する場合は、音声出力デバイスが「Fiio QX11」に選択されていることを確認してください。
- 「USB専用モード」で動作する際に、一部のデバイスではボリュームが無効になる可能性がありますので、リスニング体験に影響を与えないようにするために、ヘッドフォンを装着する前にボリュームが適切であることを確認することをお勧めします。
- QX11はローカルアップグレード、Fiio Control オンラインアップグレード、ウェブオンラインアップグレードをサポートし、アップグレード中はUSB電源を切断せず、アップグレードが完了するまで操作しないでください。ファームウェアのアップグレード手順の詳細については、https://www.fiio.com/qx11_faqを参照してください。
- QX11はパソコンシステム又はAndroidスマートフォンでイコライザーを調整でき、パソコンでイコライザーを使用する場合に、QX11をUSBを介してパソコンに接続する必要があります。https://fiicontrol.fiio.comに入ってEQ設定を行ってください。Androidスマートフォンでイコライザー機能を使用する必要がある場合は、Fiio Control APPの二次元コードをスキャンして、対応するAPPをダウンロードしてください。

充電機能の仕様について

- For Phone: この充電モードを選択することで、側面にあるPower INのUSBポートにUSB充電器などを接続した際に、本体上部のデータ用USBポートに接続しているスマートフォンやノートパソコンを充電しながら使用が可能です。急速充電にも対応しており、最大2Aの充電電流と、最大20Vの充電電圧をサポートしています。急速充電使用時は対応したケーブルと充電器をご使用ください。QX11本体とデバイスを接続する際は付属のケーブルを使用することを推奨します。
- For Estick: この充電モードを選択することで、本体上部のデータUSBポートに充電器を接続することで、側面に接続されたEstickモバイルバッテリーを充電することができます。※Estickは別売りです。

注意事項

- ★本製品はUSBを介して電源を供給し、スマートフォンやパソコンの電力を消費し、側面の電源インターフェイスにアダプターを接続することで、スマートフォンやパソコンの電力消費を避けることができます。
- ★基準を満たす電源を使用して充電してください。
- ★高性能のデコードチップとパワーアンプチップを採用しているため、使用中に熱を発生することがありますが、これは正常な現象です。
- ★ボリュームが大きすぎて聴力に損傷を与えないようにするために、音を聞く前に適切なボリュームに調整してください。
- ★ヘッドフォンを抜き差しする前に、ヘッドフォンを装着しないことをお勧めし、瞬間的な衝撃音が大きくなる可能性があるため、聴力に損傷を与える恐れがあります。
- ★自分で取り外して修理したり、水のある場所に製品を置いたりしないでください。
- ★ヘッドフォンを使用する過程で外部の音が聞こえない可能性がありますため、安全のために、危険な環境でヘッドフォンの使用を避けてください。

本体と付属品

- QX11本体
- USB Type-C to Type-C ケーブル
- レザーケース
- クイックスタート
- 保証書

さらに詳しく

- QX11に関する動画説明とよくある質問(FAQ)については、QX11 FAQの二次元コードをスキャンしてください。
- 製品に関する詳細情報については、www.fiio.comをご覧ください。
- QX11はFiioControlAPPに対応しています。QRコードをスキャンしてAPPをダウンロードし、お試しください。詳細な機能については、公式ウェブサイトの製品FAQ<http://www.fiio.com>をご覧ください。

